

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	平成 2 1 年 7 月 2 4 日
名 称	上富良野町地域省エネルギービジョン策定等事業第 1 回策定委員会		
日 時	平成 2 1 年 7 月 2 3 日 ( 木 ) 午後 1 時 3 0 分 ~ 3 時 4 0 分		
場 所	役場 3 階 第 2 会議室		
出席者	別紙のとおり ( 1 7 名 )		
内 容	1 開会		
	2 委員の委嘱 田浦副町長より委嘱状交付		
	3 町長挨拶 田浦副町長より挨拶		
	4 委員長・副委員長の選任		
	事務局に一任とのこと、事務局より委員長に北海道大学の濱田准教授、副委員長に建設業協会の佐川氏を提案。全員異議なく、承認された。		
	5 委員長挨拶 濱田委員長、佐川副委員長より挨拶。		
	6 議事 濱田委員長の司会により、議事進行。		
	議事に先立ち、経済産業局 中西課長補佐より、省エネビジョン策定の目的について説明。		
	・ 省エネに対する取り組みを体系的に組織するのが最大の目的		
	・ 部門ごとのエネルギーの使用状況を集計し、どのようにして省エネを進めるかを具体的に検討。		
	・ 実現可能な数値目標を設定し、町内全体の省エネを推進。		
	( 1 ) 事業概要について …… 事務局より説明		
	Q この事業は、ビジョンを策定するだけなのか？ その次のステップは考えているのか？ お金がかかるものについても大丈夫なのか？ ( 三本委員 )		
	実現可能なものを模索し、実践する。実践することでコストが下がるものもあるので、あとは予算繰りとの兼ね合いになるが、町全体の意識付けの意味も含め、導入していきたい ( 事務局 )		
	次の段階へ進むために、設備導入に係る補助などもあるので、経済産業局の予算的なバックアップも、よろしく願いたい ( 濱田委員長 )		

内 容	(2) 上富良野町の概要について … 事務局より説明
	質疑なし
	(3) 省エネルギー対策の目的と意義について … ドーコンより説明
	Q 100 m <sup>2</sup> の個別住宅でも、建築基準法で温水器などの性能や、家の断熱構造などについて建築基準法で規制がかかっていたはずだが… (濱田委員長)
	届出義務のある断熱基準が、2,000 m <sup>2</sup> から 300 m <sup>2</sup> に厳しくなっているはずだが… (経済産業局)
	随時、新たな情報については調査し、次回会議で報告する(ドーコン)
	(4) 町民・事業者意識調査(アンケート票)について … ドーコンより説明
	・ 難しい言葉が多いので、次回の会議までに用語集を作製し、お配りする。
	・ アンケートの対象は町民 500 人と 100 事業所とし、いずれもサンプリング方式。
	・ 町民用は、長いと回答してもらえないので 4 ページ以内とし、アンケートを配布して個人情報を聞き出す事案も過去にあったことから、注意書きを入れた。
	・ 事業所は、省エネが進んでいるところには直接訪問してヒアリングを行いたいので、記名してもらうこととした(報告書に先進事例として紹介する)。
	・ 回収率は、意識が高いところではそれなりに高いが、10%程度が通常。
	Q どんなに回収率が低くても実施するのか? (島瀬委員)
	10%程度でも、結果は利用する(ドーコン)
	Q 無作為抽出よりも、回収率の高い年代をターゲットにしては? (島瀬委員)
	様々な年代のデータが必要なので、いろいろな年代が入るような方法が望ましい(ドーコン)
	Q 回収率を上げるために、抽選などで景品をあげては? サンプル数を増やすのも1つの手では? (三本委員)
	予算も限られている。郵便料がかからないような方法でやれることがあるかどうか検討したい(事務局)
	Q 回収率を上げるため、広報紙、防災行政無線で周知しては? (濱本委員)
	周知する(事務局)
	Q 各家庭で実際にやっている省エネ事例を記入できる項目を設ければ、実践している人にとっては答える楽しみができるのでは? (濱本委員)
	一番最後に、自由意見を書けるよう項目を増やす(ドーコン)
	Q 「省エネ」という言葉は知ってはいても、なかなか浸透していないのが実態。アンケートの目的などをしっかり書かないと、理解してもらえないのでは?
	(佐川副委員長)
	事業に関して説明を書いた公書を1枚追加する(事務局)
	Q 金額、使用量を書くようになってきているが、書くことが億劫な人も多いと思うので、記載されたものから選べるようにしては? (三本委員)
	選択項目にすると枚数が増えて途中でやめてしまうことが多いが、公書を1枚増やすなら、内容はアンケートのみとして、冒頭の説明文を削

内 容	除して、選択式にする（ドーコン）
	Q 使用量の把握は無理では？ 事業所では、決算書を見れば決算額はわかるが、使用量まではわからないし、調べるのは無理だと思う（三本）
	金額を記入してもらうこととするが、電気については基本料金と使用料金があって、単純な割り返しで使用量が出てこないの、直近の領収ハガキに記載された契約電力を記入してもらうようにする（ドーコン）
	Q 低燃費、低公害車という表現は難しい。ハイブリッド車にしては？（藤崎委員）
	ハイブリッド車の表記とする（ドーコン）
	Q 事業所用は、町の施設の状況調査はどうするのか？（経済産業局）
	すべての施設の状況を把握して、使用量の多い施設を1つピックアップして立入調査、及び施設の利用状況などの担当者ヒアリングを行い、改善項目等の検討を行う（ドーコン）
	参考だが、役場庁舎については本年度、省エネセンターの省エネ診断を実施することになっている（藤崎委員）
	（5）先進事例について
	ドーコンより5箇所の先進事例を紹介。後日、先進地調査を実施する施設を決定する。
	・ 参考までに、上富良野町内にも十勝岳温泉地区の「バーデンかみふらの」では、5年前に石油ボイラーをガスに転換し、5kwのコージェネレーションを設置し、売電もしているなど、町内にも先進的な取り組みをしている事業所もある（三本委員）
	7 その他
	・ 経済産業局 中西課長補佐より参考資料「北海道のエネルギー消費動向について」の概要を説明。
	・ 省エネなのだから、まずは車を使わないということが第一。2km以内の通勤は、役場職員が率先して歩けばよいのではないかと。子どもたちに、良い環境を残してやるのが、我々大人の役目（濱本委員）
	・ 今後の会議の日程について決定。
	第2回目 9月14日（月）
	第3回目 10月23日（金）
	第4回目 11月27日（金）
	第5回目 2月 5日（金）

# 第1回 上富良野町地域省エネルギービジョン策定委員会 会議出席者名簿

所属・役職	氏名（敬称略）	出欠	代理出席
北海道大学大学院工学研究科 准教授	濱田 靖弘	出	
(財)省エネルギーセンター北海道支部 事務局長	藤崎 義則	出	
北海道電力株式会社 富良野営業所 所長	松井 利顕	欠	
有限会社 南プロパン 代表取締役社長	三本 孝洋	出	
上富良野町建設業協会	佐川 泰正	出	
上富良野町商工会	田中 稔久	出	
(社)かみふらの十勝岳観光協会	濱本 幹郎	出	
上富良野町校長会	瀬尾 祐二	出	
町民代表（上富良野消費者協会会長）	島瀬 良一	出	
〃 （上富良野町女性連絡協議会会長）	安川 美音子	出	
〈オブザーバー〉			
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構		欠	
北海道経済産業局資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長	小貫 秀治	出	課長補佐 中西康之
北海道上川支庁産業振興部 商工労働観光課 課長	高木 雅彦	出	指導保安係長 中野仁
〈事務局〉			
上富良野町副町長	田浦 孝道	出	
上富良野町町民生活課 課長	田中 利幸	出	
〃 生活環境班 主幹	林 敬永	出	
〃 〃 主査	野寺 龍二	出	
〈委託調査会社〉			
(株)ドーコン 都市環境部 副主幹	山崎 真也	出	
〃 主任技師	竹森 憲章	出	